

潇洒な  
従者じや  
居られない。



R-18  
ADULTS ONLY

DREAM CHASER

Q : 作中で飲まされた母乳薬の説明がないですが

A : 話の流れ上↓を入れる雰囲気じゃありませんでした



**内容は表紙通り真面目なお話です。**

※この同人誌は東方Projectの二次創作です。

※画像の無断転載、18歳未満の閲覧、購入を禁じます。

※このこあちゃんは処女なのでエッチなシーンはありません。別の同人誌をお求めください。

(竹林の焼き鳥屋)

処女。

私には  
秘密があります。

週に何度か  
紅魔館の隣に働きの男性

後で：今日も  
咲夜さんの部屋に  
行っていい？

え…

…いいわよ…

—この方と私は  
お嬢様には内緒で  
お付き合いを  
しています—

この人と—

咲夜さん…

もうすでに：何度も  
身体を重ねる関係に  
なっています—

紅魔館の  
メイド長として—

…本当は  
いけない事だというのは  
…判っています。



ん...ん  
んう...っ♡

もみっ♡

おめっ♡

もみっ♡

おめっ♡

ん...♡

あ...ん♡

苦しさをすら感じる  
熱烈な口づけと  
お尻への愛撫...

訊かなくとも  
彼がどう私を  
想っているか  
わかってきます。

こんなには  
求められない  
応えなわけには  
いきませんわ

美味しい...

私も...胸が  
苦しくなって  
しまってますわ...

あ...  
やだ.....!

咲夜さん...  
ほら...

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

嘘……!

まだ揉まれてすら  
いないの!?

咲夜さんも  
すごく  
シたかったの?

おっぱいがもう  
出ちやつてるよ?

こっ…  
これは…っ!

私は今—  
母乳が出る—  
体質になって  
しまってます。

ちっ  
違いますわ!

小悪魔に  
疑われて—  
関係  
その際に  
—服盛られ  
—しまった  
—たので  
—す。

ひびいぞすよー  
楽しいセックスの  
お手伝いした  
だけなのに—

でももう  
こんな  
溢れてるよ?

とにかく…  
違います…

この間…  
—あんなに  
—乱れて  
—しまっ  
—たの  
—は  
—絶対  
—き  
—つ  
—と  
—の  
—薬  
—の  
—せい  
—な  
—ん  
—だ  
—か  
—ら  
—

今日はちやんと  
メイド長として  
—メ  
—イ  
—ド  
—か  
—し  
—く  
—な  
—い  
—お  
—相  
—手  
—を  
—は  
—し  
—な  
—く  
—て  
—は  
—…  
—!



ああっ  
咲夜さん…!!

咲夜さんの  
おっぱい…っ!!

あ…

彼は  
おっぱいが好きです。

彼を胸に  
抱きとめると  
乳房が熱く  
なっ  
ていきます…

だからこそ小悪魔が  
腹立たしいのですが…

…気持ちいい  
ですか?

母乳が出る事を  
彼はとても  
喜んで  
います。

おっぱい

おっぱい

おっぱい





ああん♡  
ああん♡  
ダメ♡

ちゅーん

おっぱい  
飲ませて…っ！

美味しっ…

しゅーん  
しゅーん

彼に乳首を  
吸われると  
私の胸は  
噴き出す  
まますい  
きー

私の張り切った胸から  
溜まっていた乳首が  
母乳とともに乳首から  
放出されて…

咲夜さん…  
これも…

…!!

あーん  
あーん  
あーん

あ…

私は恥ずかしい  
嬌声を上げました。

あーん  
あーん  
あーん

あーん  
あーん  
あーん

ほら…こちらに挟んでください…？

やだ…まるで今すぐ  
発火しそうな位  
熱くなってる程  
振動が伝わる程  
脈打ってます…

挟んだ胸が…  
蕩けていきそう…

こんな猛って  
私を今から…

愛して…

犯して…♡

あ…♡  
あ…♡  
あ…♡

あ…♡

あ…♡  
あ…♡

あ…♡

あ…♡

あ…♡

あっ♡

うあ…♡

は…♡

ん…♡

気持ちいい…♡

だ…駄目よ！

今日こそは  
メイド長として  
恥をかくな  
夜伽をする  
決めたから…！



あ……あ……  
あ……あ……  
あ……あ……

そんな私を  
屈服させるかのように  
彼はマーキングを  
してきました。

それは私を  
雌犬にしかねない  
熱く、濃い  
ものでした。

そ……そんなっ  
全く萎えてない……!?

だ……駄目よっ!!

咲夜さん……  
俺……我慢が……

ちよ……ちよっと!?  
何してるの!?

あ……あ……♡

栗の花の  
強烈な臭いで  
脳が痺れそうー



駄目でっ…

めは…  
めあ…  
めいん…

すい  
すい  
すい  
すい

いしやああ

すい  
すい  
すい

アキキッ

咲夜さんっ!!

咲夜さんっ…!!

も…もうっ  
何するのっ  
ですか…っ

ほん  
ほん  
ほん

馬鹿っ…!

感じてしまっ…!

心の準備もないまま  
腔内をかき回されたら  
我慢出来ないほど…っ

いしやああ

いしやああ

…咲夜さん  
俺のこと  
好き…？

咲夜さん…  
久々にちゃんと  
聞きたい…

…こんな時に  
…馬鹿…!!

駄目…!!  
それだけ…!!  
言えない…!!

ドキ…

最近中々  
言ってくれないよね?

だって…  
それを言って  
しまったら…

私は…  
私は…!

ねえ…  
答えてよ?

馬鹿!

馬鹿!

それとも…  
俺のこと…  
嫌い?

…違うわよっ  
そういう  
意味じゃっ…

…



すっ……  
すぎ……ですわ……

その事を  
口に出した  
瞬間——

あ……  
あ……  
あ……  
あ……  
あ……

あ……  
あ……  
あ……

私の何かが  
中を飛ばした  
の飛びまわら

堰き止めていたダムが  
決壊するかのよう

あ……  
あ……  
あ……

あ……  
あ……  
あ……

私は大量の  
愛液を溢れ  
させること  
が楽しかった  
ので……



そのまま私は—絶頂を  
味わいながら彼の愛欲を  
腔内に迎え入れました。

あーあーあーあー  
あーあーあーあー  
あーあーあーあー

その溶鋼のような精液は  
私から—考える力を  
溶かし尽くすように  
奪い取っていきました。

もう—メイド長としての体裁も  
羞恥心も吹き飛んでいき—  
後には—私がこの人を好きという  
感情と、もっと快楽を味わいたいという  
欲望だけが残りました！

もっと...

もっと...!!!

はあ...

まだ...

致しますよね？

いまふぐ  
勃らへて  
さひあげまふわ...♡

気がつけば—私は  
彼の—物を—心不乱に  
食っていました！

んっ♡  
おめえおめえ♡



快楽に身を墜とした私は  
下品に腰をくねらせー

淫乱な本性を  
剥き出しにしていきました。

まるで嬉し泣き  
するかのようー

精液とともに  
潮の噴水を辺り一面  
撒き散らしますー

と褒美を一滴残らず  
しゃぶり尽くすとー

私の子宮口は  
突かれる度に  
濃厚なキスを交わー

おちんぽ  
おちんぽ  
おちんぽ

あーん  
きもちー

おちんぽ

おちんぽ  
おちんぽ  
おちんぽ

おちんぽ  
おちんぽ  
おちんぽ



それは私が  
失するまで  
続きました。

あーん  
あーん

淫らな私は  
何度か  
強烈な絶頂を  
味わったが

それでも

あーん  
あーん

あーん  
あーん

あーん  
あーん

あーん

あーん

あーん  
あーん

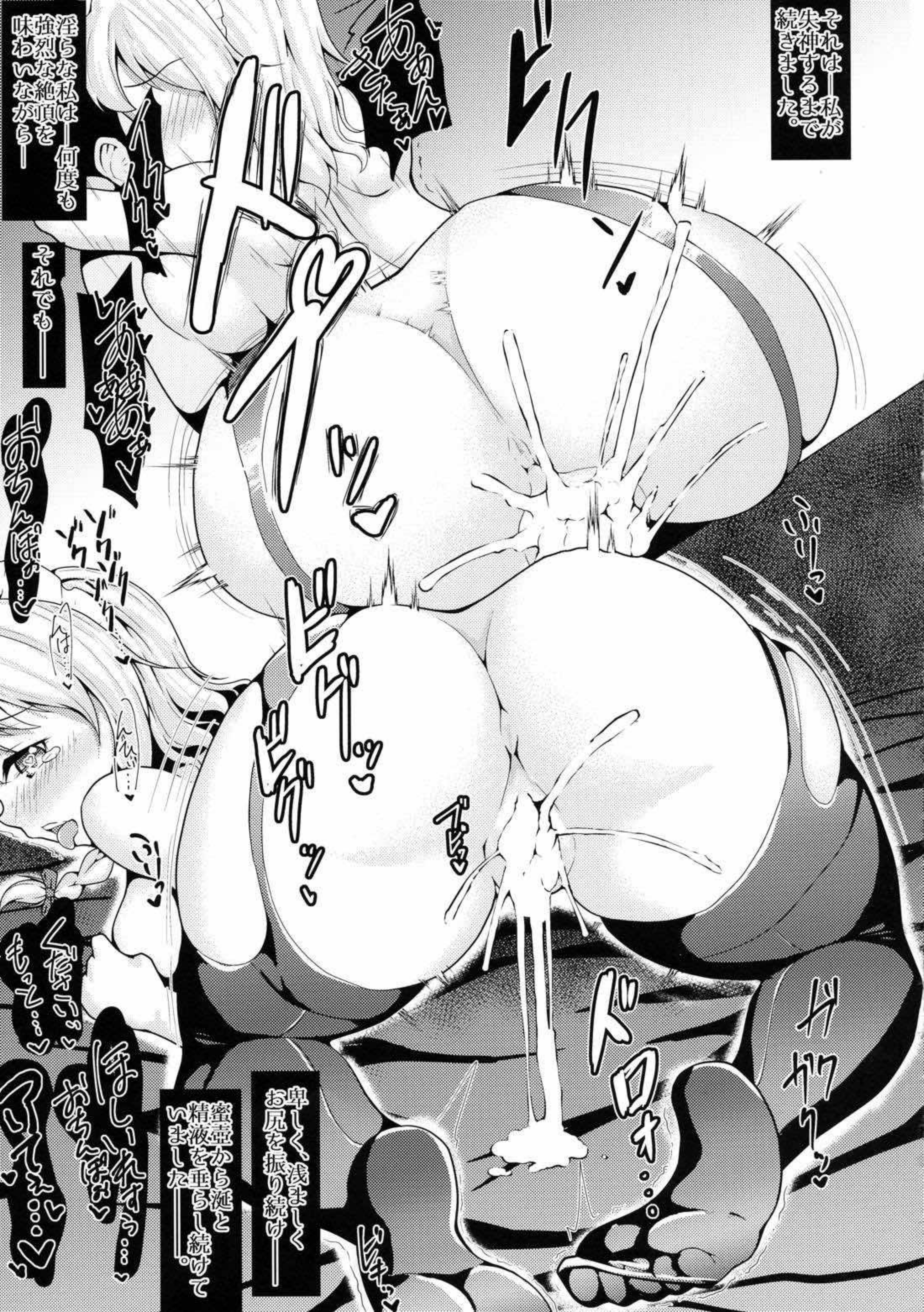
あーん  
あーん

卑しく、浅ましく  
お尻を振り続け

蜜壺から涎と  
精液を垂らし続けて

あーん  
あーん  
あーん  
あーん

あーん



スーン 何だ...

結局またー！  
欲望に流されて  
しまいましたがー！

恥ずかしい  
こんな事では  
いけないのにはー！

さくやー！！



！？  
今日は  
休みじゃー！

という訳で今日から  
こいつもウチの  
住人だから！！

てな訳で咲夜  
使用人用の  
部屋を見繕って

...って

どしたの？

...失礼  
致します...



HAHAHAHA

いやーこの人間  
結構使えるでしょ！  
ウチで住み込みで  
働かすか訊いたら  
当然OKでね！！

サッ

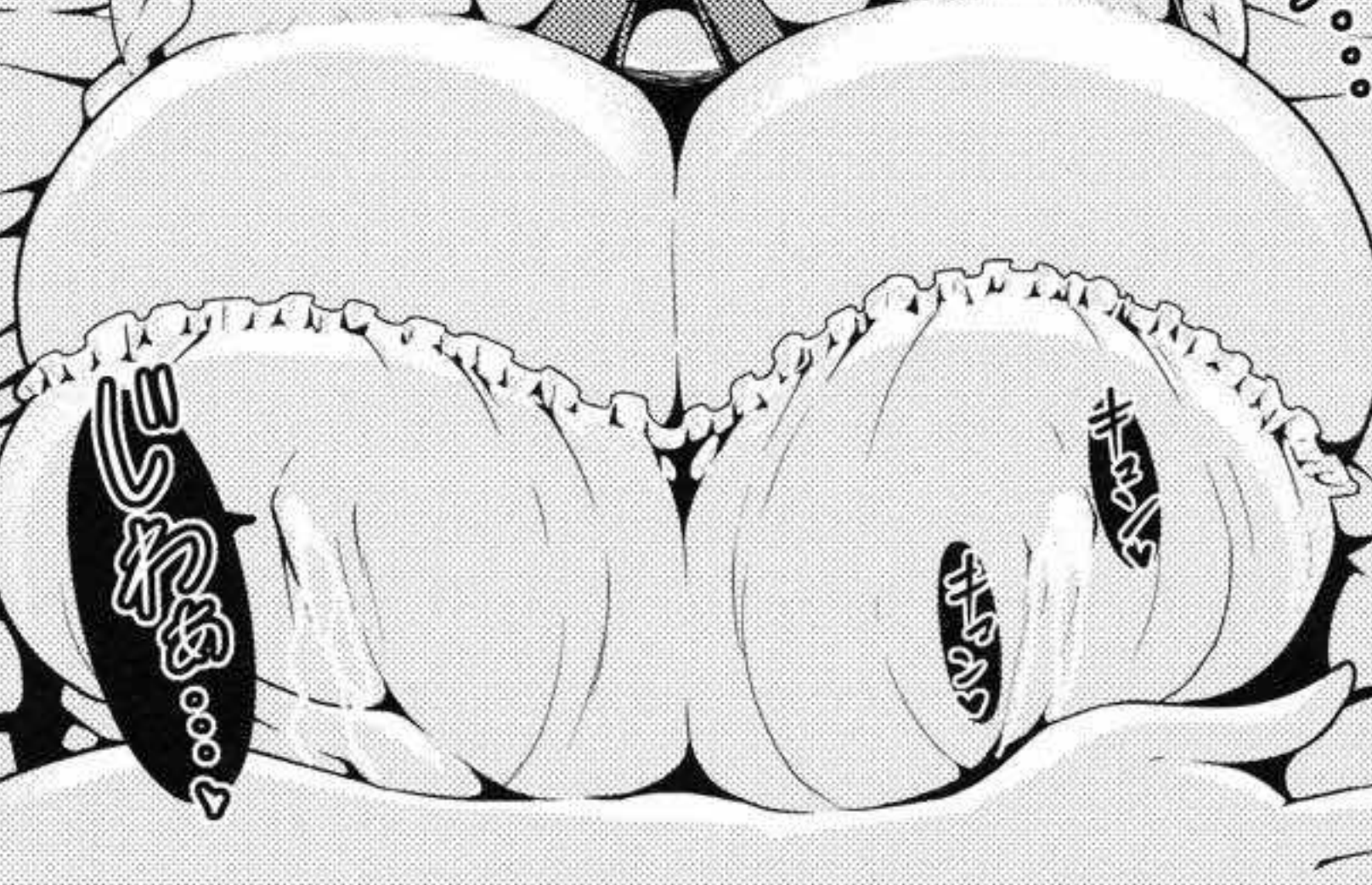


そんな...毎日  
一緒だなんて...

抑えられ...  
もう...胸が...

...ごめんなさい  
お嬢様...

私...もう  
は...者  
は...  
酒...  
は...  
居...  
れ...  
ま...  
れ...  
ま...  
せ...  
ん...  
か...  
も...  
。



END.



# あとがき

この同人誌をお手に取っていただきありがとうございます。  
かわたれと申します。

今回は暗いようなオチで終わってますが  
咲夜さんがエッチな欲を抑えられなくなっただけで  
BADENDってわけではない(はず)です。

一応二人共合意の上で付き合ってますし。

本人がお下品になっちゃうのが嫌ってということなので…

ちなみに分かりづらいですが咲夜さんの目、

11Pラストコマから段々赤くなってきてるという設定があったり。

表紙の目の色も青→赤に変わってる最中なので紫色っぽいです。

私個人の話ですが今のお仕事を辞めたいので

例大祭が終わったら転職しようかなと考えています。

どこかで絵を描いて働ける職場でもないかな？なんて…嘘ですw

でももっと絵を描く時間と体力を取れる職に就きたいなあ…

あと… 裏表紙はあれでよかったらどうか、と。

手を触られただけで「あああ~~~~っらめえ♥あっあっ

ななな何するんですか赤ちゃんできちゃううう」とか

大騒ぎするよううちのこあちゃんなのですが

彼女をエロ同人のエッチな薬を盛る役以外にも活躍させたいなーと

思っているの、おぜうさまたち含めてギャグ本も

いつか描ければなとか思っています。

ああでも元々予定してた霊夢本とか咲夜さんもっと描きたいとかあーうー…

ではまた次の機会に…

2018年5月 かわたれ

# 奥付

原作・上海アリス幻楽団さま

発行日・2018年5月6日

発行イベント・第十五回博麗神社例大祭

発行人・DREAMCHASER かわたれ

Twitter・kawatare398

Pixiv・+kawatare1341

印刷・(有)ねこのしっぽさま

※この同人誌は東方Projectの三次創作です。

※18歳未満の購入・閲覧、画像の無断転載を禁じます。